

学校図書館支援センター通信 NO.132 4月号

平成31年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



生きる力・夢や希望を育む学校図書館

市川市では、「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」をめざす学校図書館像に掲げ、「学習を支える図書館」「読書生活を支える図書館」「研究を支える図書館」の3つの機能を併せ持った図書館づくりを推進してきました。元号が変わり新しい時代がはじまろうとしています。長きにわたり積み重ねてきた市川市の学校図書館の機能を生かし、時代のニーズに応えながら、市川市の学校図書館の新たな1ページが刻まれていくことと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

平成30年度 学校図書館実態調査結果

昨年度末にご協力いただいた学校図書館実態調査の集計結果をお知らせいたします。また、昨年度の物流ネットワークの利用により貸借された図書数につきましてもご報告いたします。

① 学校図書館実態調査結果より（小・中・義・特別支援学校合計）

学校図書館活用時間数	39,416時間
学校図書館活用単元数	5,822単元

「児童生徒の図書の分類別年間貸出数」の調査結果を見ると、小・中学校ともに9類が一番多く、続いて4類、7類の順に貸出数が多い結果となりました。冊数に差はありますが、0～9類すべての図書の貸出が見られました。日頃より、幅広い種類の図書に触れられるように、工夫して取り組んでいただいた結果の表れです。

※図書の内容によって分類番号が異なります。「9類」は文学、「4類」は自然科学、「7類」は芸術・美術、スポーツ・体育、諸芸・娯楽になります。

② 物流ネットワーク貸借数について

70回合計 53,478冊

29年度と比べて、約7,300冊の増加でした。学校司書の皆様のご協力の下、学習に必要な図書資料を児童生徒及び教員へ提供することができました。

学校図書館活用が多かった教科

【小学校】

- 1 国語科
- 2 総合的な学習の時間
- 3 社会科
- 4 理科

【中学校】

- 1 総合的な学習の時間
- 2 国語科
- 3 美術科
- 4 家庭科・技術科



ドは読書のド♪

第61回「こどもの読書週間」 4月27日～5月10日

公益社団法人 読書推進運動協議会主催「こどもの読書週間」の今年の標語は、「ドは読書のド♪」です。「読書=本」が身近な存在になってほしいという願いが込められているそうです。

「こどもの読書週間」は、子供たちにもっと本を、子供たちにもっと本を読む場所をとる願いから、昭和34年に誕生しました。「こどもの読書週間」期間中には、図書館、書店等様々な場所で、子供たちが本に親しめるような行事が行われています。



第1回学校図書館研修会



4月16日（火）、各学校の司書教諭・学校司書、幼稚園の図書担当者にお集まりいただき、「第1回学校図書館研修会」を行いました。市川市の学校図書館支援センター事業についての説明後、小・中・義・特別支援学校は「学校図書館オリエンテーションについて」、幼稚園は「各園の取組について」の情報交換を行いました。短い時間でしたが、他校での実践を知ることができたようでした。児童生徒対象のオリエンテーションだけではなく、教職員へ向けてのオリエンテーションについても話題にしているグループもありました。ぜひ、教職員に向けて、学校図書館活用について発信していただけたらと思います。

また、常勤学校司書の方々が作成した図書資料の紹介、文学ミュージアム・中央図書館から学校へのサービスについての連絡がありましたので、ご紹介いたします。



【中央図書館より】

幼稚園・学校へのサービス

- ・学級文庫
- ・出張おはなし会（幼・小）
- ・中学校出張サービス（中）
- ・布の絵本・おもちゃ（特）
- ・教職員貸出
- ・こども図書館見学 など

【文学ミュージアムより】

☆市川手児奈文学賞 出前授業について☆

1 実施授業

短歌・俳句・川柳・詩

2 実施期間

平成31年6月～9月30日

※学校から希望内容、希望日時を伺い、その内容を講師へ伝えたくて調整します。

3 問い合わせ先

市川市生涯学習センター2階
文学ミュージアム内（担当：富居）

市川手児奈文学賞 出前授業のご案内

市川市立中央図書館は、市川市立中央図書館（市川市立中央図書館）と連携して、市内の小・中学校に文学賞の授業を実施しています。児童生徒は文学賞の授業として「おどろきの国」も取り上げ、文学の楽しさを伝えるとともに、読書の楽しさを伝えることを目的としています。出前授業は、短歌・俳句・川柳・詩の4種類から、希望のジャンルを選んでいただきます。出前授業の申し込みは、市川市立中央図書館のホームページから行うことができます。

1. 実施期間 短歌・俳句・川柳・詩

2. 実施期間 平成31年6月～9月30日

3. 問い合わせ先 市川市生涯学習センター2階

文学ミュージアム内（担当：富居）

※学校から希望内容、希望日時を伺い、その内容を講師へ伝えたくて調整します。

市川市立中央図書館は、市川市立中央図書館（市川市立中央図書館）と連携して、市内の小・中学校に文学賞の授業を実施しています。

児童生徒は文学賞の授業として「おどろきの国」も取り上げ、文学の楽しさを伝えるとともに、読書の楽しさを伝えることを目的としています。

出前授業は、短歌・俳句・川柳・詩の4種類から、希望のジャンルを選んでいただきます。

出前授業の申し込みは、市川市立中央図書館のホームページから行うことができます。

【学校図書館資料の紹介】

「市内共有フォルダ」「C4thの書庫」に学校図書館で活用できる資料を保存しています。

【保存先：市内共有>H31年度>学校図書館資料等】

- 学校図書館スライド（オリエンテーション・国語科3、4年生「図書館へ行こう」）
- 学校司書連絡会資料（塩づくりの資料、アニメーションの資料、読書のきろく用紙など）
- 学校図書館整備規定 ○学校図書館申請書類等（借用書ひな型など）
- TOPNET マニュアル ※TOPNETは図書管理用システムのことです。

◎C4thの書庫には、「博物館資料」「市川市の昔話」「学校図書館センター通信」などの資料があります。

お知らせ

『新任学校司書紹介』 ～よろしくお願いいたします～

今年度より、須和田の丘支援学校へ学校司書が配置されることとなりました。これにより市川市内のすべての学校に学校司書が配置されることで、今まで以上に学校間同士の連携が強化されていくのではないかと期待しています。須和田の丘支援学校の学校司書の方は、5月より着任されます。また、新たに宮田小学校、大洲小学校に新規の学校司書をお迎えしました。今年度の新任学校司書は、3名になります。



☆お 願 い☆

『2019年度 学校図書館年間利用計画』入力について

今年度も「学校図書館年間利用計画」の作成をお願いします。年間利用計画を作成することで、読書活動や学校図書館利用を計画的に進めることができます。教育センターでは、各学校の年間利用計画を集計し、教育センターホームページに掲載しています。

入力期限は、5月17日（金）です。市内共有フォルダ内に、昨年度の内容を入力した「学校図書館年間利用計画」が保存してありますので、参考にしていただき、加除訂正して上書き保存してください。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

